

意外と知らない！
クルマの
安全ガイド

お子さまをのせるとき

車外に投げ出される可能性も！
チャイルドシートはしっかり固定を！

衝突時には、身体に体重の何十倍もの荷重がかかります。ひざを抱っこでは、お子さまを支えきれず車外へ投げ出される可能性が。



チャイルドシートを使用する際は、正しく装着してください。

チャイルドシートにきちんと座っていないと、急ブレーキなどによって体が投げ出されて、大変危険です。小さなお子さまを乗せる時は、チャイルドシートをお使いください。また、お子さまの体格にあったチャイルドシートを正しい位置に、しっかりと固定してください。

For Safety

安全のポイント



資料提供：JAF「チャイルドシート不使用の危険性」

POINT 01

お子さまを乗せる時は
チャイルドシートを使用する。

ひざの上でお子さまを抱えていても、急ブレーキをかけた時や衝突した時などに十分に支えることができず、お子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。また、シートベルト※は大人の体格に合わせて設計されているため、小さなお子さまが使用すると、急ブレーキや衝突時に飛び出してしまうたり、シートの下にすべり落ちたりするおそれがあります。

小さなお子さまを乗せる時は、チャイルドシートをお使いください。6歳未満のお子さまはチャイルドシートの使用が義務付けられています。

※シートベルトの他、軽トラックのヘッドレストなども、大人の体格に合わせて設計されていますので、お子さまが使用する時には、ご注意ください。



体に合ったものを

チャイルドシートの使用目安

- 乳児用：～83cm
- 幼児用：76cm～100cm
- 学童用(ハイバックタイプ)：100cm～150cm
- 学童用(ブースタークッションタイプ)：125cm～150cm

POINT 02

チャイルドシートは
体に合ったものを取り付ける。

- ・チャイルドシートは、主に乳児用（ベビーシート）、幼児用（チャイルドシート）、学童用（ジュニアシート）の三種類があります。
- ・お子さまの体格に合わせて、適切なチャイルドシートをお選びください。
- ・学童用（ジュニアシート）のお子さまのベルトは鎖骨にかけて首にかからないようにしてください。
- また、下のベルトはお腹にかけず腰の骨の下にかけてください。

※JAMA（一般社団法人 日本自動車工業会）のサイトでは、取付方法や注意事項などを詳しく説明しています。



チャイルドシート啓発



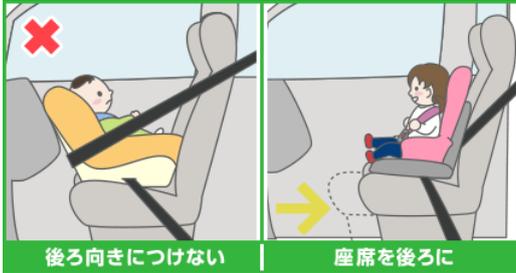
チャイルドシートご使用にあたって



POINT 03

チャイルドシートは後部座席に装着する。

チャイルドシートは安全のために後席に装着してください。



POINT 04

助手席には後ろ向きのチャイルドシートは絶対に取り付けない。

助手席に乳児用（ベビーシート）など、後ろ向き装着のチャイルドシートは、絶対に取り付けしないでください。

助手席 SRS エアバッグ装着車の場合、SRS エアバッグが膨らむ時に強い力が、後ろ向きチャイルドシートの上部にかかり、背もたれに押しつけられ、命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。

やむをえず、助手席に前向きのチャイルドシートを取り付ける場合は、SRS エアバッグから遠ざけるため、助手席を一番後ろの位置にしてください。



POINT 05

チャイルドシートはしっかりと固定する。

チャイルドシートの種類によって取り付け方が異なるため、チャイルドシートの取扱説明書に従って、装着してください。

装着後は、チャイルドシートを前後左右にゆすり、確実に固定されていることを確認してください。

三菱自動車お客様相談センター

0120-324-860

オープン時間 9:30~12:30、13:30~17:00

※050~で始まる番号など、一部の IP 電話からはつながらない場合がございます。